



工房だより

～ペットのための自然食キッチンから～

2024年2月号
vol.69



今月の一枚

プー太郎くん

5才(撮影時)
フレンチブルドッグ

【ドッグフード工房愛犬動画大賞 入選犬】
プー太郎くん、おめでとうございます。
投稿いただいた動画は、赤鬼に扮して鹿肉フードを食べているキュートな動画。似合いすぎて(笑)



※入選動画は Instagram にてご覧いただけます。

ワンちゃんのお写真募集中!

メールにて、どんなワンちゃんか一言添えてお送りください。
採用された場合には心ばかりのお礼をお送りします。
info@petfood-kitchen.co.jp

ドッグフード工房
Instagram では
お得な情報を配信
しています。



シニア犬サプリ

お得な定期便スタート

期間限定、初回の一袋がお試し価格!!10%OFFで購入いただけます。
※二月二十九日まで

ワンちゃんの変化に喜びの声も続々届いております。フードに振りかけて与える手軽さと、鰹節の匂いに食いつきアップのお声も。できたて定期便のご利用者様は定期便に同梱してお届けでもシニア犬サプリの定期便としてネコポスにてお届けでも、ご都合の良いようにお申付けください。

通常価格 40%OFF

3,520円 → 2,112円

※専用スプーン付き



お得なおまとめコースをおすすめいたします。

毎月コース	1回目	2回目	3回目	4回目	送料無料	15%OFF	1袋2,992円×12回 35,904円
3か月分おまとめコース	1回目	2回目	3回目	...	送料無料	20%OFF	3袋8,448円×4回 33,792円

通常購入より1年で**8,448円もお得!**
※12個を通常購入した場合との比較

第3期

アンバサダーご紹介

2月から4月までの期間限定アンバサダーとして活動いただきお友達です。応援お願いいたします。
Instagramでの投稿をお楽しみに。



まめぎちくん



こたろうくん



mochi mugi

Instagramへは
左上QRコードから

パフシリーズ 3月中旬頃販売開始予定

長らくお待たせしておりましたパフシリーズですが、やっと目処が立ちました。春には、お届けできそうです。もう間もなくです!



冬にかかりやすい病気

この時期、第1位にあげられるのは泌尿器系の疾患です。

主にストルバイト結石、シュウ酸カルシウム結石という2種類の結石が全体の占める割合が高いと言われています。原因としては、飲水量の減少により尿が濃くなるとミネラル濃度も高くなり、より結石ができやすい環境となってしまうからです。

この2つの結石の大きな違いは、ストルバイト結石は細菌感染が原因で形成され、シュウ酸結石は細菌感染の有無に関係なく形成されるということです。

また治療方法も異なり、ストルバイト結石は食餌療法で溶かすことができますが、シュウ酸カルシウム結石は外科的に摘出しなければなりません。

シュウ酸カルシウム結石は、シニア犬の発生リスクが高く、犬種としては、ミニチュアシュナウザーやヨークシャーテリア、シーズーなどは特に注意が必要だと言われています。

症状は、血尿や頻尿など様々ですが、それらに伴い、元気や食欲の低下、嘔吐、おしっこが全くでないなどの症状が見られる場合は要注意。おしっこの出口が完全に塞がれている可能性があります。その場合には緊急を要するので、すぐにかかりつけの獣医師に相談しましょう。

予防としては、結石の種類にかかわらず、飲水量が減らないようにすることが重要です。例えば、フードをふやかして与えるなど普段の生活中で、より意識して水分をとるようにつでもお水を飲める環境をつくらせてあげることが大切です。

そして水分をしっかりとった後は、トイレを我慢させないように!!



オウちゃん健康診断の話を受けて、そろそろ叶ちゃんもそんな時期だと工さんに健康診断の日程について相談しました。工さんは前のめりに「もっちくんも一緒にからね」僕の定番だ！の勢いで日程調整。(笑) 叶ちゃんは昨年3歳のお誕生日に健康診断をお誕生日の月にするよと決め、シニアになるまでは年に1回としました。

※シニア期に入ると半年毎がおススメです。(7才以上)



待合室のソファに座っていると、受付で健康診断について質問している方が、「検査を何種類もしないといけないのでしょうか」「いえいえ、検査の項目については、ワンちゃんの年齢や犬種から提案させていただきます。」と、そんなやり取りが聞こえてきました。



2人は耳がダンボに。どうやら、シニアのトイプードルらしく、「えっ麻酔を打たなければいけないのでしょうか」いきなりポリウム上がったので、二人は受付の方を振り返りました。「いえいえ、おとなしくできない場合だけです。それに軽い麻酔ですので。」レントゲン検査で麻酔の話聞いて不安になったようでした。工さんと房さんは顔を見合わせて、年齢や犬種よって必要な検査項目が変わることなど、勉強になったねと頷き合いました。叶ちゃんももっちくんが、かかりやすい病気なども先生にしっかり聞かなくちゃ、と力が入りました。つづく